

自主事業報告書

事業名 新潟市バイオリサーチセンター

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

実施期間 2020年4月1日～2021年3月31日

(1) 事業の経過およびその成果

世界規模で発生した新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が収まらず、現時点でも収束が見込めない現状において、感染拡大を巡る不確実性が企業の活動を委縮させ国内の経済活動の低迷が懸念されております。当社は、こうした環境の中で、次のような事業に取り組みました。

(主な事業内容)

① 産官学連携推進事業

今年度の産官学連携推進事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動の制限はあるものの、電話やメールによる県内外の企業からの機能性食品に関する問い合わせに対して、新潟薬科大学の研究者にお繋ぎしました。

○ 包括連携事業

新潟薬科大学との包括連携協定のもと、新潟薬科大学研究支援の一環として、新潟市主催であるフードメッセでの「Akiha もち麦プロジェクト」の展示説明の手伝いや、秋葉区主催の機能性食品講演会の手伝いを行いました。また、県内外の企業から機能性食品の探索研究の問い合わせや、研究者からは、臨床研究のサポートの依頼があり対応いたしました。

○ 新潟市健幸づくり応援食品認定制度支援

新潟市の健幸づくり応援食品認定制度申請に係る技術的な相談窓口として、今年度も引き続き新潟市農業活性化研究センター、IPC、新潟市食と花の推進課と連携し、制度の申請に係る技術支援を行いました。また、今年度は、新潟市農業活性化研究センターの依頼によりWebによる「健幸づくり応援食品認定制度申請」の申請説明ビデオを作成し、制度の普及に貢献いたしました。

② 機能性食品評価事業（ヒト試験）

今年度は、血糖上昇抑制効果の試験を2件実施いたしました。件数は少ないものの、受注したM社の試験は、求められる試験の品質のレベルが高く、今まで対応をしていなかったモニタリングや監査の対応等を要求され、それを実践したことにより、品質の高い試験の経験と実績を得ることが出来ました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が、本事業を進めるうえで大きく影響を受けており、それに伴う対応の改善が必要となりました。

【新型コロナウイルス感染拡大による本事業への影響】

- ・ 県内外のイベントの自粛によって、人的交流が絶たれた他、大学の研究者、企業の研究者との面談が厳しくなり、PRの機会がかなり減少しました。

- ・ 新型コロナウイルスのクラスターへの懸念から、試験実施の承認が遅れスケジュールが伸びました。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大で、提携医療機関が三密を避けるために利用者の分散化を図っており、通常業務がスケジュール通りに進まなくなったことから、臨床試験の実施スケジュールと噛み合わなくなりました。
- ・ 試験実施場所として、大型施設の安定的な使用が難しくなったため、廃業した旅館を借りて試験を実施しましたが、試験の準備に手間がかかり効率が悪くなってしまいました。
- ・ 試験実施におけるクラスターを避けるために、血糖の試験では被験者を10名までとし、事前検査については、密を避けるために実施人数の制限を行ったため、効率の悪い試験運営となりました。

○ FHCT-2020-01D 試験 (M社)

試験食品摂取による血糖上昇抑制効果試験。

○ 血糖上昇抑制効果試験 (新潟薬科大学)

新潟薬科大学研究プロジェクトの外部委託機関として参画し、試験食品による血糖上昇抑制効果の試験を行いました。本試験の結果を基に、次年度長期試験を行う予定にしております。

○ その他

次年度実施予定の試験の準備として、「認知機能改善」「ストレス低減」「血糖上昇抑制」「咀嚼と健康」をテーマに5試験の準備を行っております。

③ 食品安全事業

今年度も引き続き、新潟薬科大学食品安全学研究室より、消毒剤の評価試験の依頼を受けました。

○ 殺菌効果試験 (新潟薬科大学)

昨年度同様で、ノロウイルス等が起因する食中毒対策薬に関する研究を目的として、殺菌抗ウイルス薬剤の評価試験を実施いたしました。

○ HACCP 関連 (M社等)

HACCP導入における電話やメールによる相談の対応業務として、月額単位で料金を頂くプランを始め、今年度はM社に実施いたしました。契約は月額約5万円と少額なもの、継続と新規獲得が出来ればビジネスとして魅力が増すと思われます。引き続き新潟薬科大学のご協力をいただきながら本事業を進めていきたいと思っております。その他、新潟市農業活性化研究センターより、WebによるHACCPの初心者セミナーの依頼があり3月末に実施いたしました。本セミナーの評判は良く、次年度も継続して実施したいとお話を頂いております。

④ NBRP 会員事業

今年度末の会員数は、25社、会費収入は、1,090,920円となりました。現在、新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーやワークショップ等のイベントを行う事が困難なため、今後は、Web

によるセミナーなどコンテンツの整備を目指します。また、当社の業務全般を、会員企業向けのサービスとして運用していくことも引き続き視野に入れて進めてまいります。

⑤ 自動販売機設置事業

施設利用者の利便性向上を図るため、自動販売機を設置しております。

(2) 当社の対処すべき課題

今年度に入ってから新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、次年度にはワクチン接種が行われる予定になっておりますが、現時点では収束が見込めない状況です。当社としては、経済活動低迷の中、従来のやり方にこだわらず、創意工夫を行い固定費の削減を目指すことで、この局面を乗り切っていきたいと考えております。また、この一年を振り返り、従来の進め方では通用しないことから、次年度は以下の課題に対応したいと思っております。

【新潟市バイオリサーチセンター運營業務】

- ・ インターネットを活用した入居者募集のPRを行う。
- ・ 健康ビジネス協議会の会合やその他のイベントなどで、新潟市バイオリサーチセンターの紹介を行う。

【機能性食品評価事業】（ヒト試験）

- ・ メールやインターネットを活用したヒト試験の売り込みを積極的に進める。
- ・ 実施機関の増設を目指し、多くの試験を実施可能にする。
- ・ ボランティアバンクを整備することで、多様な試験の実施を可能にする。
- ・ 血糖上昇抑制効果試験以外の新たな評価試験マーカーの模索を行い実施する。
- ・ 従来の臨床試験のやり方の見直しを行う（医療機関との作業内容の検討）。

【食品安全事業】

- ・ HACCP 導入におけるメール、電話相談の月額プランのパッケージ化を進める。
- ・ 専門家との協力体制の強化と専門機関との業務提携を進める。

【NBRP 会員事業】

- ・ HACCP 導入などのショート動画を作成し、会員専用のコンテンツにすることで、情報のコンテンツを増やしていく。

今後も、この環境の変化を捉えつつ、安定的な収益確保を見つけたいと考えております。